

IAUD特別ワークショップ
2013年 実施計画素案

IAUD Special Workshop 2013 Action Plan

48時間デザインマラソン in こうべ

The 48 Hour Marathon for Universal Design in Kobe
2013. Sep. 17th ~ Sep. 19th



国際ユニヴァーサルデザイン協議会
International Association for Universal Design

●目次

- 開催趣旨
- 企画概要
- ワークショップテーマ
- 運営体制
- チーム編成
- スケジュール
- 参加者募集要項
- 会場周辺地図およびアクセス
- 過去のアウトプット

●開催趣旨

■IAUD事業における特別ワークショップの位置づけ;

国際UD宣言2002年であられた『一人一人の人間性を尊重し、使い手中心の考え方を重視したものづくりや、社会環境作りを目的とした研究』を、推進するためのワークショップとして位置づけています。またこの活動は、ユーザー対話型ワークショップ『48時間デザインマラソン』として2004年から継続的に取り組んでおり、IAUDの代表的な活動の一つとなっています。

■ワークショップの目的;

主要な目的を以下の内容としています。

- ・UDの普及啓発
- ・将来のUDを担うリーダーやデザイナーの人材育成
- ・新たなデザイン開発手法を探求する学びの場

そして下記5項目を骨子に創造的なワークショップ開催を目指します。

1. デザイナー、エンジニア、マーケッター、研究者などの参加者が、ユーザーの生活の場の様々な事象を自ら体験することにより、リアリティーに基づく気づきを得て創造力豊かなユニヴァーサルデザインのアイデアを獲得すること。
2. 誰にでも優しく安心して社会参加できる生活環境の創出を、衣食住、製品、労働、移動、余暇レジャー、情報メディアなど多様な視点から追求し、生活者や地域社会に寄与する解決方法を、具体的なデザインを通じて行なうこと。
3. プレゼンテーションを公開審査の場とし、ユニヴァーサルデザインの取り組みや活動に対する社会的価値と役割を、多くの方に理解してもらうこと。
4. 短時間内で、調査・企画・発想・プレゼンテーションまで行う集中力を養い、ITを駆使してデザイン具現化力の向上を目指すこと。
5. 現役の学生が、業界を超えて集まったプロデザイナーとユーザーの協業に参加する産学協働の場をつくることで、将来のユニヴァーサルデザインを担う人材育成の場とすること。

●企画概要

- 名称 : 特別ワークショップ:48時間デザインマラソン
(Special Workshop: The 48 Hour Marathon for Universal Design)
- 開催日程: 2013年9月17日(火)~9月19日(木)
- 開催場所: 神戸芸術工科大学
〒651-2196
神戸市西区学園西町8-1-1
Tel 078-794-2112
Fax 078-794-5027
- 運営 : 国際ユニヴァーサルデザイン協議会(IAUD)
- 協力 : 神戸芸術工科大学
- 後援 : 神戸市
- 活動概要: IAUD会員およびからワークショップに応募された参加者は、事前に決められたチームリーダーのもと、5つのチームに編成されます。各チームは与えられたワークショップのテーマに基づき、48時間という限られた時間内にUDの競争設計を行います。

48時間の前半は主に、障害をもつユーザーと共に神戸市内の生活現場へ出かけ、様々な問題点を抽出し、デザインテーマを決定します。後半は主にデザインの具現化とプレゼンテーションの準備に費やされます。

最終日には、趣旨に賛同して見学頂ける来場者やマスメディアに対して、各チームが公開プレゼンテーションを行います。

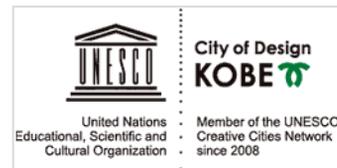
●48時間デザインマラソンinこうべ ワークショップテーマ

「暮らしと絆」

－未来を繋ぐ 人を街を繋ぐ 心を繋ぐ－

神戸市（こうべし）は、兵庫県南部に位置する兵庫県の県庁所在地です。人口は154.5万（2011年8月1日）面積は552.3 km²で海と山に囲まれ自然に恵まれた美しい環境と多くの外国観光客も訪れる国際色豊かな都市です。

1995年、阪神・淡路大震災によって戦後に例を見ないほどの大きな打撃を受けましたが、住民や多くの支援者の尽力によりめざましい復興を遂げ、新しい神戸を再建し続けています。あわせて神戸市は2008年10月16日にユネスコ創造都市ネットワークデザイン都市に認定。震災からの再建を進めるだけでなく「住み続けたくなるまち、訪れたいくなるまち、そして継続的に発展するまち」を目指して、人間らしい生活を実感できる創造都市「デザイン都市・神戸」を積極的に推進しています。



一方2011年11日に発生した東日本大震災はM9.0と気象庁観測史上最大の地震が発生しました。この地震により発生した大津波が太平洋岸に襲来し、各地に甚大な損害をもたらし、この災害による死者は約1万6000人、行方不明者は2500人以上、40万戸の建物が全半壊しており阪神・淡路大震災を上回る戦後最大の災害をもたらし、現在も復興にむけて住民や支援者によって進められています。

今回のワークショップでは復興を成し遂げ、心豊かな街づくりを目指し続けている神戸から日常的な暮らしを再度見つめなおします。そして「特別では無い、豊かな暮らしとは何か」を再考しながら高齢化や多様化する環境を踏まえ、製品、サービス、空間、広告などのリアルなデザインを各チームから提案します。

デザインの方向は、各チームのゲストユーザーの問題を解決するとともに、それを「誰にでも開かれた「今と未来、人と街、心を繋ぐデザイン」としてまとめあげてください。多くの人々が元気に住まい、食し、心から楽しむことができ、そして様々な人が集いたくなる様な、魅力ある将来に対する提案を期待します。

●運営体制

■運営事務局 (Secretariat):

「国際ユニヴァーサルデザイン協議会 (IAUD)」
International Association for Universal Design

■監修 (Supervisor):

荒井 利春(あらい としはる)
金沢美術工芸大学名誉教授
Arai UD Workshop 代表

■運営協力者 (Administrative Partner):

相良 二郎 (さがら じろう)
神戸芸術工科大学デザイン学部 教授
日本リハビリテーション工学協会 会長

■運営責任者 (Director):

国際ユニヴァーサルデザイン協議会 理事
「IAUDワークショップ委員会」委員長
藤木 武史(ふじき たけし)

■運営副責任者 (Deputy-Director):

「IAUDワークショップ委員会」副委員長
矢辺 憲二(やべ けんじ)

■WS運営サポート (WS Operation support):

「IAUDワークショップ委員会」
一ノ渡 靖(いちのわたり やすし)
井内 育生(いのうち いくお)
今井 美希(いまい みき)
北村 卓也(きたむら たくや)
新木 英和(しんき ひでかず)
高本 康明(たかもと やすあき)

●チーム編成

■全5チームを編成

■1チーム 構成メンバー内訳

・チームリーダー.....	1名
・ユーザー	1名
・デザイナー / エンジニア / マーケッター等	5名
・学生ボランティア.....	2名

計 9名 / 1チーム

■チームリーダー:

応募した参加者のなかから、各チームのリーダーとなる方をIAUD側から依頼させていただきます。チームリーダーはワークショップに先立ち、組織されたチームメンバーとコミュニケーションを取り、チームビルドを行います。またワークショップ時は、チームメンバーとの協議を通じて活動を円滑にし、時間内にテーマに基づいたソリューションを導きます。

■デザイナー / エンジニア / マーケッター 等:

IAUD会員企業より募集したデザイナー、エンジニア、マーケッター、神戸市在住デザイナーなど 合計30名を 5つの混成チームに分けます。それぞれのチームには、同一の企業から2名以上参加できないこととします。募集およびチーム編成は運営側で行います。

●チーム編成

■ユーザー：

杖や車いすを使用されているユーザー [3名]、視覚に障害のあるユーザー [1名]、聴覚に障害のあるユーザー [1名] が各チームに1名ずつ参加します。ユーザーは高い社会参加意識と共に、各種コミュニケーション手段により自身の考えを伝えることができる方を、相良二郎先生の協力で募ります。具体的には、自身の身体機能特性や道具、設備機器との関係をチームメンバーに説明するとともに、実際の生活現場でどのような問題や事象が発生するのかをチームメンバーと具体的に確認したり、デザインへの助言を行なって頂きます。

■学生ボランティア：

それぞれのチームには、2名の学生ボランティアが付きチームをサポートします。学生ボランティアは次の役割を担える方とします。

- ① ユーザーの介助
- ② デザインワークの補助と実行
- ③ 視覚障害を持つユーザーへの情景描写補助（情景を言葉で表現）
- ④ ワークショップ活動の記録化（写真、動画、メモなど）

今回は神戸芸術工科大学の学生さまに協力をいただく予定です。企業から参加するプロのデザイナーと共に活動をいただくことでデザインアプローチやプロセスを経験いただき研究にいかしていただければ幸いです。



●48時間デザインマラソンIn神戸 スケジュール

9月17日(火)

- 9:30－9:45 チームリーダー、ユーザー集合（神戸芸工大）
- 9:45－10:45 事前ミーティング（リーダー＋ユーザー＋運営委員）
- 10:45－11:15 参加者集合（ワークショップメンバー）
- 11:15－12:00 開会式（ワークショップメンバー＋ユーザー＋運営委員）
- 12:00－13:00 チーム会議、昼食（調査エリア、タイムスケジュール等の決定）
- 13:00－18:00 フィールド調査（神戸市内他）
- 18:00－20:00 チーム作業、夕食（神戸芸工大）

9月18日(水)

- 9:00－12:00 チーム作業（神戸芸工大）
- 12:00－13:00 中間報告、昼食（各チームによる概要報告）
- 13:00－22:00 チーム作業（神戸芸工大）

9月19日(木)

- 9:00－11:15 チーム作業（プレゼンテーション準備）
- 11:15－11:30 プレゼンテーションデータ提出
- 11:30－12:30 教室片付け、昼食
- 12:30－13:00 会場準備完了
- 13:30－13:45 公開プレゼンテーション 開会式
- 13:45－15:00 プレゼンテーション（吉武記念ホール、各チーム10分＋質疑5分）
- 15:00－15:20 ユーザーからの一言、講評（荒井教授）
- 15:20－15:30 閉会式
- 16:00－17:30 全体片付け、返却
- 17:30－18:30 移動（神戸芸工大 → 三宮）
- 18:30－20:30 WS振返り＋懇親交流会（三宮予定）

9月20日(金)

「人と防災未来センター」視察(<http://www.dri.ne.jp/>) ※希望者のみ

●参加者募集要項

■応募資格: IAUD会員 および 国内外で活躍されているプロのデザイナー、エンジニア、マーケッター、プランナー、研究者、など（国籍不問）

■募集期間: 2013年7月22日(予定)～2013年8月30日(予定)

■募集人員: 参加デザイナー 計30名(5グループ)

※定員となり次第募集を締め切らせて頂きますので ご了承下さい。

※リーダー5名は、締め切り後にIAUD側から依頼させていただきます。

■応募方法: <http://www.iaud.net/> より応募用紙をダウンロードし必要事項を
問合せ先: ご記入し、メール又は FAXにて**IAUD事務局へ送付下さい**。

不明な点はIAUD事務局までお問い合わせ下さい。

Tel : 045-901-8420 / Fax: 045-901-8417 / Mail: info@iaud.net

■参加費: 60,000円/人(予定)

(注意: 交通費・宿泊費は参加費には含まれませんので、
学生、サポーター含めて参加者の負担となります)

■宿泊施設: 参加者はIAUD事務局が手配するホテルに宿泊して頂きます。
参加申込者に対して、別途ご案内をいたします。

■設 備: MacデスクトップPC, カラープリンター、コピー機、活動に必要な一部の
画材、用具(模造紙、付箋紙、マーカー、マスキングテープ、カッティング
ボード、カッター、定規など)はIAUDが用意致しますが、以下の備品は、
参加者各自でご用意ください。

【MacノートPC、デジタルカメラ、製図用具、スケッチブックなど】

■産業財産権等の取り扱いについて

ワークショップの過程で生じた著作物に係る著作権はIAUDに帰属します。ワークショップの
過程で生じた発明、考案または意匠の創作に関する特許、実用新案登録および意匠登録を
受ける権利ならびに当該権利に基づき取得する特許権、実用新案権および意匠権はIAUD
に譲渡もしくは実施許諾を頂きます。また、デザインマラソンの成果をメディア等へ公開する
にあたって、参加者の肖像を使用させて頂くことがあります。

●会場周辺地図およびアクセス

神戸芸術工科大学 (Kobe Design University)



デザイン教室(ワークショップ用)



吉武記念ホール(500人収容)



神戸芸術工科大学

〒651-2196

神戸市西区学園西町8-1-1

<http://www.kobe-du.ac.jp/>

Tel 078-794-2112

Fax 078-794-5027

大阪方面から

- JR、阪急、阪神の「三宮」駅より、神戸市営地下鉄(西神・山手線/西神中央行)に乗換え。「学園都市」駅下車。(三宮から約23分)

姫路方面から

- JR「新長田」駅より、神戸市営地下鉄(西神・山手線/西神中央行)に乗換え。「学園都市」駅下車。(新長田から約12分)
- JR「舞子」駅、山陽電鉄「舞子公園」駅より、神戸市営バスまたは山陽電鉄バス(51・53・54系統)にて「学園都市」下車。(舞子から約30分)
- 山陽電車「板宿」駅より、神戸市営地下鉄(西神・山手線/西神中央行)に乗換え。「学園都市」駅下車。(板宿から約10分)

新幹線利用の場合

- 「新神戸」駅で、神戸市営地下鉄(西神・山手線/西神中央行)に乗換え。「学園都市」駅下車。(新神戸から約26分)

※神戸市営地下鉄は、「三宮」「湊川」「新長田」「板宿」の各駅で他社線(阪急電鉄、阪神電鉄、神戸電鉄、JR、山陽電鉄)と接続しています。

<48時間デザインマラソンイン福岡作品参考資料>

■TEAM A 「ブッカチーフ」



視覚障害者が取り出したハンカチは一部に汚れが。汚れはわからない・見えない。清潔さ×オシャレ。本のようにめくってキレイな面をいつでも使えるハンカチ。



■TEAM B 「てことば」



手話の動きをモチーフにデザインされたTシャツ。

*めんたいこ：右手を左胸に置く⇒ハートの明太子を模様化。

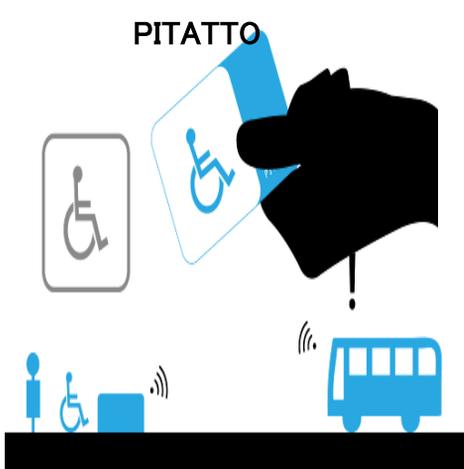
*福岡：博多帯をなぞる⇒天の形をピクト化して連続模様化。

*楽しい：両手を交互に上下⇒手の奇跡をそのままデザイン。

手話を誘発するTシャツで手話の体験を共有。



■TEAM C 「ピタット」



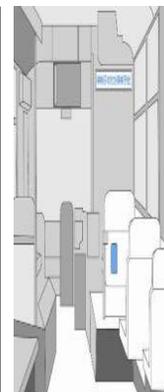
バス乗車時・下車時にPITATを機器にかざすと、車内に車椅子の乗車・下車が表示。

*運転手には事前情報によりスロープ準備の心構えが、

*乗客には不意の待ち時間への不満低減が、

*車椅子の方には乗車不安や他の乗客への気遣いが低減

はバス利用者全てに優しいICカード。

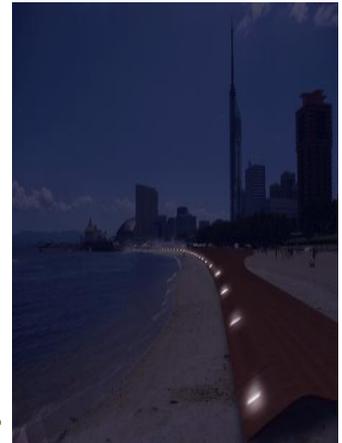


<48時間デザインマラソンイン福岡作品参考資料>

■TEAM D 「モモチウオーク」



みんなで出かけた百道浜。
そこには細いウッドウォークが海の傍まで延びていて、自然に駆け寄った。
その時の楽しさと気持ちよさを気軽に味わえる新しいウッドウォークを考えてみた。



■TEAM E 「おちょこ」

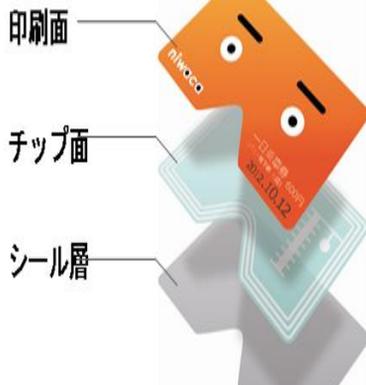


「利き酒」情報をOCHOCOに内蔵された情報チップに蓄積。呑んだ銘柄、好み、場所、達成度等が分かり、店員や他の観光客とのコミュニケーションを誘発。

「おちょこ」にはデザインの自由度を持たせ、福岡ならではのご当地デザイン発展も視野に。
首から吊り下げるデザインは所有欲を満たすだけでなく、全ての利用者の利便性を考えた形状。



■TEAM F 「にわか」 NIWACA



ICチップ内蔵 1day観光パスポート。
カードの裏面のシールをはがして手や、腕、に貼り付けて使用。
荷物で両手が塞がっていても、車椅子に乗った人でも簡単に改札にかざして清算することができる。
IC乗車券と同サイズで財布や定期券入れに収まる。

